



登録番号: 第22596号  
有効成分: アラクロール ..... 30.0%  
                  リニュロン ..... 12.0%

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アラクロールを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数
			播量	希釈水量				
だいず えだまめ	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	400~800ml /10a	100ℓ /10a	1回	全面土壌散布	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は 1回以内)
飼料用とうもろこし いんげんまめ			400~600ml /10a					
ばれいしょ		植付後萌芽前 (雑草発生前)						



登録番号: 第22048号  
有効成分: アラクロール ..... 4.0%  
                  リニュロン ..... 1.04%

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	アラクロールを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数
だいず えだまめ	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	4~8kg/10a	1回	全面土壌散布	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は 1回以内)
ばれいしょ		植付後萌芽前 (雑草発生前)	4~6kg/10a				

△使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。(乳剤)
- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。(粒剤)
- 発芽後の雑草に対しては効果が劣るので、雑草発生前に時期を失しないように散布してください。
- 砕土、整地はいいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけいいに行い、覆土深を2~3cm以上としてください。
- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用してください。
- 水はけの悪い圃場及び過湿条件では薬害のおそれがあるので使用をさけてください。
- 散布後に多量の降雨が予想される場合には薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 砂土では使用しないでください。
- 砂質土の保水力の小さい圃場では使用しないでください。
- いんげんまめに使用する場合、品種によっては薬害を生じるおそれがある

- 全時期(白金時期は除く)、中長うら類以外の品種では使用しないでください。(乳剤)
- 畜に対して影響があるので、周辺の糞尿にはかからないようにしてください。(乳剤)
- 周辺農作物や有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、飛散しないように注意して散布してください。特に風の強い時の散布はさけてください。(乳剤)
- 使用後は、タンク、ホース、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用するには薬害の原因にならないよう注意してください。(乳剤)
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。(乳剤)
- 空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2020年3月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)

RCS-SLS4A

イネ科雑草も 広葉雑草 もこの1剤で。

©は日産化学(株)の登録商標

日産 畑作用土壌処理除草剤

ラクサー<sup>®</sup>  
乳剤/粒剤

# イネ科雑草も広葉雑草も、この1剤で。 畑作用土壌処理除草剤ラクサー。

ラクサーは特長が異なる2つの有効成分「アラクロール」と「リニュロン」を配合。  
だから、イネ科雑草も広葉雑草もこの1剤でしっかり抑えることができるのです。

作業に合わせて、  
2つの剤型から  
お選びください。



粒剤

乳剤

5Lボトル  
新登場!

イネ科も広葉も、おまかせください!



ノビエ

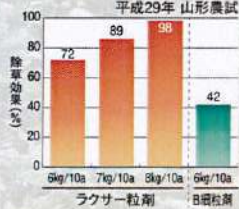
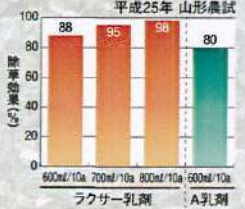
メヒシバ

イヌタデ

イヌホオズキ

ツユクサも、しっかり枯らす!

## ■ツユクサに対する効果



乳剤は800ml/10a<sup>※</sup>散布、  
粒剤は8g/10a<sup>※</sup>散布で  
ツユクサに  
さらに効果アップ!

※ただし、えだまめの場合。

作物名:大豆(リュウホウ) 播種日:5月31日  
処理日:6月3日 15.0ml/区 2反復  
調査日:7月4日(処理後31日)

作物名:大豆(シュウリュウ) 播種日:6月6日  
処理日:6月6日 15.0ml/区 2反復  
調査日:7月5日(処理後29日)

有効成分  
アラクロール

イネ科雑草、カヤツリグサに強い

超長鎖脂肪酸合成阻害

主に幼芽部、根部

有効成分  
リニュロン

広葉雑草に強い

光合成阻害

主に根部

2成分の  
組み合わせで

幅広い雑草をもれなく、より確実に枯らします。

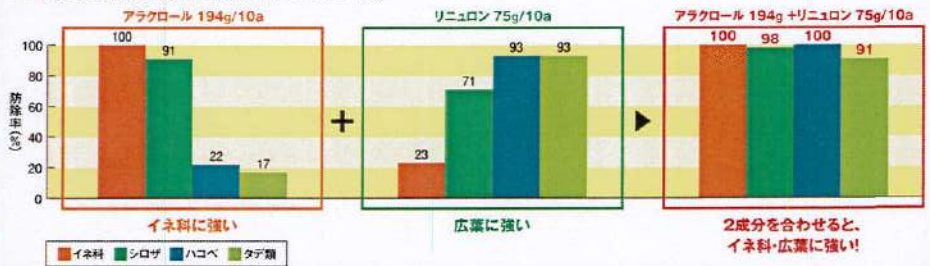
雑草名 有効成分	イネ科					広葉									
	ノビエ	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	カヤツリグサ	シロサ	ハコベ	スベリヒユ	タカサフドウ	センダングサ	イヌビユ	ハキダメギク	イヌホオズキ	タデ類	ツユクサ
アラクロール	◎	◎	◎	◎	◎	□	◎	◎	◎	○	□	○	○	○	◎*
リニュロン	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□

ラクサー

※2成分の混合効果による。キ乳剤800ml/10a、粒剤8g/10a散布の場合。

殺草効果:◎(極大)、○(大)、□(中)、△(小)、×(無)

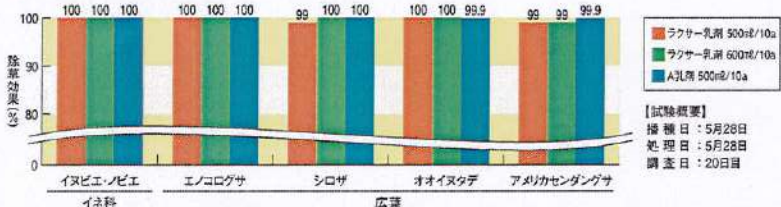
## ■現地混用効果試験 昭和54年 日本モンサント(株)



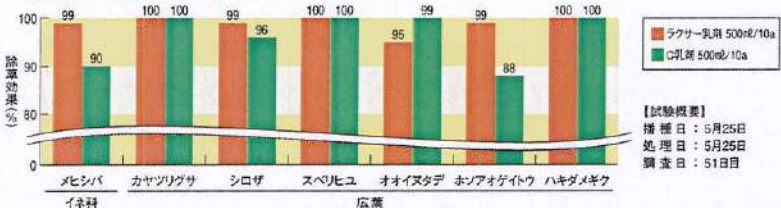
# 委託試験でその **効果** と **安全性** を確認しています。

## 乳 剤

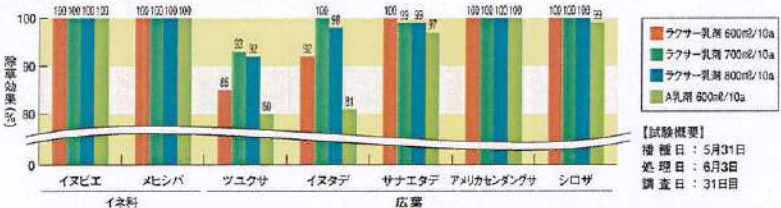
■大豆試験結果 平成19年 宮城県古川農業試験場



■大豆試験結果 平成18年 日植調研究所



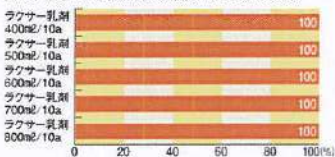
■大豆試験結果 平成24年 宮城県古川農業試験場



■作物への安全性 平成18年～29年 委託試験より

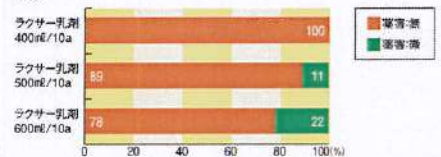
【大豆に対する薬害頻度】

(400・500ml:15例、600ml:24例、700・800ml:9例)



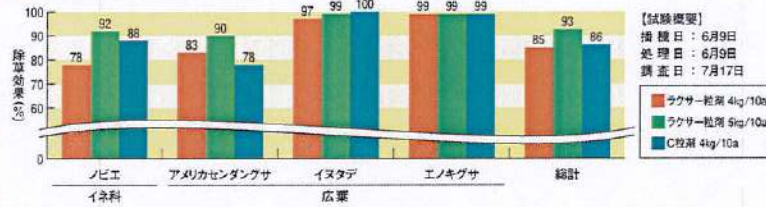
【ばれいしょに対する薬害頻度】

(9例)

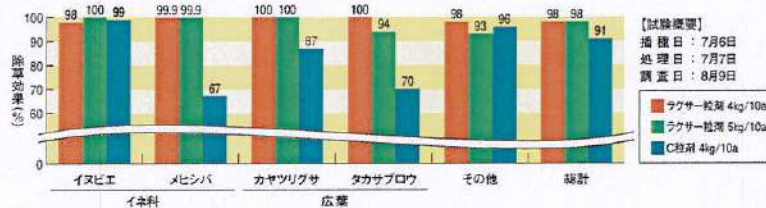


## 粒 剤

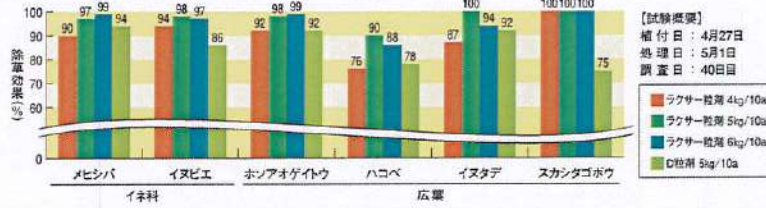
■大豆試験結果 平成17年 福調古川試験地



■大豆試験結果 平成17年 三重県科学技術振興センター農業研究部



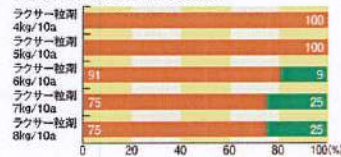
■ばれいしょ試験結果 平成28年 福調青森試験地



■作物への安全性 平成18年～29年 委託試験より

【大豆に対する薬害頻度】

(4・5kg:7例、6kg:11例、7・8kg:4例)



【ばれいしょに対する薬害頻度】

(5例)

